

むさしNet

(発行)

*働きやすい職場をめざす

(連絡先)

日立武蔵の会

*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男

*電話・FAX ; 042-394-0937

*メール; hitachikon@jcom.home.ne.jp

*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

三菱電機の新社長会見

4月1日に新しく就任した三菱電機の野間口有社長は、三菱電機と日立のシステムLSI統合会社に他の半導体メーカーが関与するかどうかについて「(日立と関係が深い)NECに限らず可能性はある。三菱電機と松下の提携もつながってくるかもしれない」と指摘した。と報道されています。

(4月4日「日経」新聞)

職場討議でも 反対意見出される

賃金減額受入れ提案の職場討議では「5%カットは納得できない」「組合として受入れるべきで

02春闘の終結直後突然一律5%賃金減額が提案され、4月15日の日立労組中央委員会で機関決定されました。

賃金減額の早い解除を

賃金5%減額は納得できない 大企業は社会的責任を果たせ

はない」「電機その他よりひどい内容である」「解除条件が税引き前利益予算の達成としている」「本部の運営が良くないのではないか」「組合費を下げてほしい」「会社の赤字宣伝はつくられた赤字ではないか?」などの声が出されています。企業の社会的責任をもっと追及して行く事が求められます。

春闘無視の経営側

今年の春闘での大問題は集約直後に各社一斉に賃下げ、定昇延期を提案し、春闘を無視してきたことです。経営側の大幅

沖電気は返金に

平し復つとを回すこと均で6%の減額を戻す約束しました。個人に減額を戻す約束しました。

労使協定により、賃金減額は6月1日から実施されることになりましたが、一日も早い解除を実現させて行きましょう。

集積回路

▼武蔵支部は組合運営として、個人別闘争資金(月額3000円、一時金6000円)と支部組織闘争資金(月額平均3400円)、政策制度活動資金(月500円)の積立停止、徴収停止する。さらに時給低下に伴う組合費の低下分も含めると、一人月額平均で約4700円の減額となっております。

▼もちろん、賃金が減額となる中で生活の厳しさをかばう面での一助となる事にはなると思いますが、自らの闘争資金の積み立てを中止する事での対処に釈然としない気持ちになります。▼職場には「組合費の減額」や「組合幹部の責任」論が出されています。今春闘での経過と闘い方をしっかり総括し、リストラ人の減らしを許さず働くものの生活と権利を守り発展させる労働運動の再構築を図って行くようではありませんか。

(丁)

働き方を見直す交流集会に参加

4月20日、全労連2Fホールで開催された「働き方を見直す交流集会」に参加する機会に恵まれましたのでそのポイントを報告します。

リストラ「合理化」に反対し 人間らしく働く職場を守るために

問題提起として金属労働研究所の西村氏より。

88年に政府は長時間労働への国際的な批判に答え、

92年度中に年間労働時間1800時間への短縮を内外に約束しました。

その後の日本は、ただ働き労働、年休取得の低下、過労死の増大、変形労働時間制の導入など最悪のシナ

リオとして進行しています。

サービス労働の実態は政府統計でも明らかになっています。(下表参照)

02春闘での「高失業時代には労働条件の引き上げは困難だ」とする見解は歴史的事実とまったく相違しているとして詳細に報告し、日経連がワークシェアリング論で賃下げを言い出して

日立半導体の状況 生産が追いつかぬ

4月23日付「電波新聞」半導体特集記事を組み、その中で日立半導体グループの中島穂男CMOが「ここにきて、受注、生産、販売ともよくなってきた。現在の受注量では、生産が追いつかない状況。このあとも急に落ち込むということはないだろう。楽観はしていないが、半導体部門は、去年の数字を底に今後とも、徐々に上がっていく、と確信している」と報道しています。

サービス労働の実態 (hr)

政府統計の届け時間と実態調査時間との差がサービス労働となっています。

年度	厚労省	総務省	サービス労働
1997	1891	2215	324
1998	1871	2210	339
1999	1840	2210	370
2000	1853	2241	388

職場からの報告

いる今こそ、ただ働きの追放、年休の完全消化などで失業反対闘争をすすめる時と強調しました。

職場報告では、住友軽金属の3直2交替と労働災害、航空労組連絡会の空の安全と職場の安全、日本IBMの派遣労働とグローバル戦略、富士通の成果主義賃金の実態など6職場からの報告がありました。(谷口)

「医療改悪反対・雇用・暮らし・いのちを守る4・12小平市民集会」が行われ約100名が参加しました。今、全国で出口の見えない不況、それに追い討ちをかけるリストラ、保険料引き上げなど医療の大改悪のまくり、国民を戦争に巻き込む恐れのある有事法制の問題など、いのちとくらしが脅かされています。

この日は同じ要求を掲げて全国各地で抗議行動が行われ、小平集会では働く現場から報告がありました。

各職場からの報告

医療従事者からの発言は、「不況と失業が深刻化するなかで、病院にかかれぬ人を増やして病気の重症化を招いている。入院して欲しいと言っても首を縦に振ってくれない。患者の辛さ、深度さが伝わってくる。暮らしにくい世の

中を反映して精神を病む人が増えている。診療報酬の引き下げにより病院の経営も大変だ」。

教員からは「小平市教育委員会の問答無用の姿勢また、校長、教頭の下に主幹をおく管理体制が引かれ学校現場を苦しめている。小平市嘱託職員は「小平市は人件費節約という形で嘱託職員を300人採用している。3年契約なので

やっと仕事に慣れたたと思ったら職場を去らなければならない。3年

雇い止めの廃止求めて、1年間市と交渉してきたがダメでこの3月に沢山の人が失職したが、引き続き要求をしていきたい」。

この他沢山の職場から発言がありました。日立武蔵の職場からはリストラが不況をさらに悪化させているとの発言がありました。

最後に集会アピールを採択し、これからも市内駅頭宣伝行動を提起して閉会しました。(Y)

医療改悪反対・暮らし・いのちを守る 小平市民集会に100名！

日本国憲法9条をじゅうりんする

「有事法制」反対の声を上げよう

有事法制は戦争への道

小泉内閣は戦後初めての本格的な戦争体制をめざす「有事法制三法案」を4月16日閣議決定され、国会審議されてきました。

日本は二十世紀前半までは戦争の連続でした。戦後作られた新しい憲法は、9条で戦争の放棄と陸、海、空全ての軍隊を持たないことを明記し、それ以来50余年間戦争の加害者にも、被害者にもならず平和を築いてきました。

今回上程された「武力攻撃事態法案」「自衛隊法改正案」「安全保障会議設置法改正案」の三法案は、憲法9条をじゅうりんし、人権や自由・民主主義や地方自治などを踏みにじり戦争に協力し、戦争を最優先にする国家体制を作るものです。

法案は全ての国民に戦争協力の義務のあることがはっきり明記されています。とりわけ土地、家屋等差し出す事。自衛隊が使う物資を保管し提出する事。これらに従わなかった

場合には罰則が与えられるとしています。戦争への非協力、反戦平和を唱える人は犯罪だとみなされます。まさに戦前の治安維持法の時代とそっくりです。

かつての太平洋戦争中は戦争遂行のためと称して、衣食住全ての物資を国家が統制し、原論や思想

も管理され、多くの学者や宗教者までが「非国民」として投獄されました。民間人の多くが徴用の名のもとに強制労働に駆り出されました。

「STOP！有事法制」

日本が二度と戦争する国にならない為に「有事法制を許さない」の一点で党派や思想

信条の違いを超えて、いま多くの宗教者・労働組合・民主団体・青年たちの統一した闘いが進められています。5月24日には明治公園で「有事法制反対」の大集会が計画されています。二度と再び私たちは戦争の加害者にも被害者にもならないために「有事法制反対」の声を上げていきましょう。

(H)

連合メーデー笹森会長表明

有事法制断固反対

連合の笹森会長は4月27日、東京・代々木公園で開いた中央メーデーで、有事法制にふれ「今国会で無理やり成立させることに連合は断固反対」と表明したと、報道がありました。

休憩室

機密費で百万円のスーツ

Aさん 「エーッ 英国屋なの」

Bさん 「どうして？」

Aさん 「だって政府は、アメリカベツタリだから」

賃金5%カット

スカートを踏まれています

真紀子元大臣

頭を抑え付けられています

日立の従業員

職場たより

四千人に対して 九千人に達する

今回の「早期退職優遇制度」は、4000人の目標に対して9000人に達したとの報道がありました。応募した人の中には、繰り返し退職強要の個人面談を受けて、やむを得なく退職の届出をした人も多かったと聞きひどすぎると感じました。(Y)

人手の確保を

この3・4月で知り合いが何人も退職し淋しい限りです。個人面談がなければ退職する人が少なかったでしょう。残った人には、仕事量が増えすぎ大変です。やはり人手はキチンと確保してもらいたいものです。(K)

5%減額は大変

職場では人が減って忙しくなり大変です。5%減額は残業代にすると月

新聞報道に見る 9000人の内訳

4月9日に各マスコミは一斉に早期退職9000人と報道しました。

半導体や重電、コンピュータなどの部門で予想を上回る数となったとして、半導体事業をかかえる電子デバイス部門が最も多く2600人、情報通信システム部門が2100人と報道しています。

さらに、退職金上乘せに必要な経費も当初予定の670億円を大きく上回るとしていますが、高年齢の応募が多かったことから1000億円以内に収まる。との報道となっています。(T)

人減らし過ぎて 現場が大変に!

に6時間分にもなり、減収分を補うために残業でこなすのは結構キツイです。「そんなにできないヨ」との声も。(Y)

現場が大変に!

半導体のV字回復めざしてとりくまれた早期退職優遇制度で、関連会社でもたくさんの人達が退職させられたようです。そのせいかどうかはわかりませんが、五月連休初日、急に夜勤休出、通し残業が行われたり、関連会社ではこの連休中六日も出勤があったりで現場で働く人達はますますたいへんな状況になっています。(H)

減額の早い回復を

人減らしと減額が決まった途端に半導体の需要が回復の傾向と言う。生活が大変な状況の中、一日

絵手紙で挨拶



も早く賃金の減額を止めてもらいたい。(I)

闘争資金の 引き出しに朗報?

賃金5%カットを補填するために労組武蔵支部が闘争資金の引き出しを認めました。申し込み用紙が配られると「これで少しは懐が暖かくなる」といいながら次々とみんな書いている姿が見受けられました。(H)

編集後記

今日の職場状況ほど労働組合の役割が議論され切実になっています。今後、働くものの生活と権利を守り切れるのか、人減らし、賃金の減額の労働運動に大きな課題が残っています。今後とも皆さんと一緒に考えて生きたいと思っています。(S)